

2 級 筆 記 問 題

- 次の(1)・(2)の説明に、最も関係のある語句を解答欄に記入しなさい。
 - 1986年、イタリアのブラの町が発祥とされ、その土地の伝統的な食文化や食材を守る、消費者に味覚教育を促進し、質のよい食材生産者を支える等の指針がある
 - 輸送食料の重量に輸送距離を乗じた値を、トン・キロメートルで表したものであり、食料の輸送が環境に与える負荷を示す指標である
- ビタミンCと最も関係のあるものを(1)・(2)の中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 - 水にとけ空気によって酸化される
 - 水にとけないが油にとける
 - 水にとけアルカリに弱く熱には安定している
 - 熱には安定していて光によって破壊されやすい
 - レバー、卵黄 イ 胚芽米、豚肉 ウ いちご、柑橘類 エ 酵母、牛乳
- 次の(1)・(2)の文に最も関係の深い無機質をアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 - 甲状腺の機能を保つ
 - ヘモグロビンの形成

ア ナトリウム イ よう素 ウ イオウ エ 鉄 オ マンガン
- 次の文中の(1)・(2)に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

かたい獣鳥肉を低い温度から入れて長時間煮ると肉の結合組織の主成分である（ 1 ）がゼラチン化して肉汁が溶出しやすくなり、やわらかい肉となる。一方、高い温度で肉を短時間加熱すると表面の（ 2 ）が凝固し、溶出するものが少なくなり肉にうま味が残る。
- 次の(1)・(2)の食品に最も関係のある色素をアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 - なす (2) 肉

ア クロロフィル イ アントシアン ウ カロテノイド エ ミオグロビン オ カラメル
- 次の(1)・(2)に最も関係の深いものをアからオまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 - ふ (2) マーマレード

ア 乳酸菌 イ グルテン ウ レンネット エ ベクチン オ 卵白

- カッテージチーズに最も関係の深いものをアからウまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 脱脂乳や脱脂粉乳からつくる熟成させないチーズ、淡白でくせがない

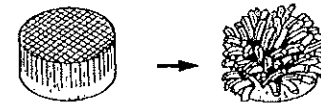
イ 硬質でプロセスチーズの基調となっている、くせがなくマイルド

ウ 特別硬質で熟成期が長い、すりおろして料理にふりかける

- 次の(1)・(2)の文に最も適する食品名をアからオまでの中から一つ選んで、解答欄に記入しなさい。
 - 熱湯にくぐらせ、湯むきをする
 - 大根おろしを混ぜ、ざるに入れてふり洗いのする

ア かんぴょう イ 米 ウ トマト エ 牡蠣（かき） オ しじみ

- 次の切り方の名称を答えなさい。



- 次の(1)・(2)の料理に最も関係の深い食品を、アからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。
 - あわ雪かん (2) 信田煮

ア 油揚げ イ コーンスターチ ウ 豆腐 エ 道明寺粉 オ 寒天

- 次の(1)・(2)は、ある日の夕食の献立例である。献立作成の立場から考えて、これに加えたい料理をアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

{	飯	{	飯
	かきたま汁		古老肉（酢豚）
	()		玉米湯（とうもろこしのスープ）

ポテトサラダ ()

ア ハムエッグ イ 魚の塩焼き ウ 牛奶豆腐 エ 粉ふきいも

2	問 題	1		2		3		4		5		6		7	8		9	10		11	
		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)		(1)	(2)		
級 (第45回)	解 答																				
	得 点																				
	学 校 名	高 校		学 年		組		番 号		氏 名		合 計									

2 級 筆 記 問 題

1. 次の(1)・(2)に最も関係の深いものをアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 精進料理 (2) 懐石料理
 ア 植物性食品を材料とし、仏教の影響を受けた料理
 イ 牛鍋など、肉食が広まり始めた
 ウ 茶席で供する簡素な料理
 エ 狩猟中心の時より食生活が安定してきた
 オ 宴会向きの料理で、献立はかなり自由に加減できる

2. 次の(1)から(5)の文の中から正しいものを二つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) でんぷんは、数個の単糖類が結合したものである
 (2) ぶどう糖はぶどうに多く含まれ、人間の血液中には0.1%程度含まれている
 (3) 乳糖は乳汁に含まれ、人乳には1~2%含まれる
 (4) ぶどう糖が燃焼して熱量を発生するときビタミンB₁が必要である
 (5) セルロースは消化されず栄養的には価値がないからできるだけ摂取しないようにする

3. 次の(1)・(2)の文に最も関係の深いビタミンの名称を解答欄に記入しなさい。

- (1) 血液中に溶けているカルシウムを骨に沈着させ、骨や歯を硬くする
 (2) 不足すると皮膚が荒れたり、暗適応機能が低下したり、また眼や呼吸器の粘膜が細菌感染を受けやすくなる

4. 次の文に最も関係のあるものをアからエまでの中から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 果実のしぼり汁を体積の1/2程度に濃縮し製造時に希釈したもの
 ア 天然果汁 イ 濃縮還元果汁 ウ 果汁飲料 エ 果汁入り清涼飲料

5. 次の(1)・(2)の食品の加工に最も関係の深いものをアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) かつお節 (2) 中華そば
 ア かび イ 亜硝酸ナトリウム ウ かん水 エ ペクチン オ ベーキングパウダー

6. 次の(1)・(2)の製法によって作られる加工食品を、アからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 豚のばら肉を塩漬けて、くん煙したもの
 (2) 食用硬化油に植物油などを混ぜ、これに食塩・着色料・香料・発酵乳・ビタミンA・乳化剤などを加えて乳化したもの
 ア ベーコン イ ハム ウ バター エ マーガリン オ チーズ

7. 次の(1)・(2)の食品の原料を解答欄に記入しなさい。

- (1) 上新粉 (2) オートミール

8. 次の文は加熱調理器具の説明である。適する名称を解答欄に記入しなさい。

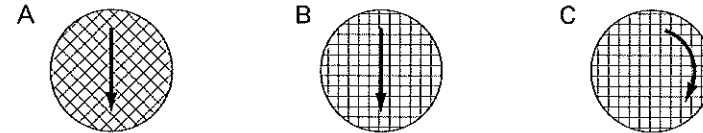
- (1) 加熱によって生じた水蒸気が鍋の中にたまることで圧力が高まり、鍋内温度115~120℃で調理する。豆や骨付魚肉などかたい食品が短時間でやわらかくなる。
 (2) 食品にマイクロ波を照射すると、食品中の水の分子運動がおこり食品自体が発熱する。特に解凍や再加熱の利用が多い。

9. 次の(1)から(5)の文の中から誤っているものを一つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ごまあえのごまの量は、材料の5~10%である
 (2)ゼリーに用いる粉ゼラチンの量は、液量の2~3%である
 (3) からしあえのからし粉の量は、材料の5~10%である
 (4) ほうれんそうのソテーに用いる油の量は、材料の5~10%である
 (5) いも類の和風煮物に用いられる砂糖の量は、いもの量の3~5%である

10. マッシュポテトについて、次の文中の()内から最も適するものを一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

裏ごしするときには、木じゃくしを網目に対して①(ア 直角に イ 45°位に ウ できるだけねかせて)あて、下図②(A B C)の方向にひく



11. 次の献立表は、夏の一人分の昼食献立例である。(1)・(2)の問いの答えを解答欄に記入しなさい。

献立	材 料	分量(g)
冷やしそうめん	そうめん(乾)	150
	し し と う	10
素揚げ	油	1
	ト マ ト	20
きゅうり	き ゅ う り	10
	だ し 汁	60
つけ汁	み り ん	20
	し ょ う ゆ	20
薬味	ね ぎ	5
	の り	少々
くだもの	す い か	100

- (1) この献立で最も不足する栄養素を一つあげなさい。
 (2) 分量が多すぎるものは何か、材料名を一つあげなさい。

問 題	1		2	3		4	5		6		7		8		9	10		11	
	(1)	(2)		(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		①	②	(1)	(2)
2																			
級 (第 46 回)	解 答																		
得 点																			
学 校 名	高 校			学 年		組		番 号		氏 名				合 計					

2 級 筆 記 問 題

1. 次の(1)・(2)の月日について、最も関係のある食品をアからカまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 1月7日 (2) 5月5日

ア 七草がゆ イ 栗ご飯 ウ ちまき エ 雑煮 オ そば カ そうめん

2. 次の文中の(1)・(2)に最も適する語句をアからオまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

食料をどれだけ国内の生産でまかなっているかの割合を（ 1 ）という。日本は先進国の中でも低い水準にある。品目別でみると小麦および（ 2 ）が常にきわめて低い状態にある。

ア 大豆 イ 卵 ウ 野菜 エ フードマイレージ オ 食料自給率

3. 次の文中の(1)・(2)に最も適する語句をアからオまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

多くのビタミンは人体内では、（ 1 ）することができないが、体内に入って特定のビタミン効力を持つようになる物質があり、それを（ 2 ）という。

ア プロビタミン イ 脂溶性ビタミン ウ 水溶性ビタミン エ 合成 オ 分解

4. 卵の調理性について、次の(1)から(5)の文の中から誤っているものを一つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 卵白は、30℃くらいが泡立てやすい
- (2) 卵のたんぱく質はアルカリで凝固する
- (3) 卵黄は卵白よりも凝固温度が高い
- (4) 全卵で泡立てることを、共立てといい、比較的泡立てにくい
- (5) 卵黄はレシチンを含むので水と油をよく乳化する

5. 次の文中の(1)・(2)に最も適する語句を記入しなさい。

小麦粉に水を加えてこねると、でんぷんとたんぱく質が水分を吸収して、粘弾性と伸展性をもつ。（ 1 ）とグリアジンが水をなかだちとして、網目状に組織をつくるため、これを（ 2 ）という。たんぱく質の多い小麦粉ほど強い（ 2 ）をつくる。

6. 次の(1)・(2)の文に最も関係の深い食品をアからオまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ベクチンを含み、酸と糖を加えて煮るとゼリー状になる
- (2) 約70%が水分で残りがほとんどでんぷんであり、ビタミンCの加熱による損失は少ない

ア 野菜 イ 鶏卵 ウ くだもの エ ジャがいも オ 牛乳

7. 次の(1)・(2)の加工食品のおもな原料を、アからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

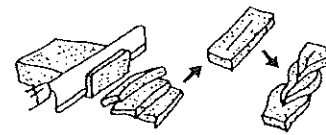
- (1) 白玉粉 (2) ロースハム

ア こんにゃくいも イ 薄力粉 ウ もち米 エ 牛肉 オ 豚肉

8. 次の(1)から(5)の文の中から誤っているものを二つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 塩味は、苦味に比べると、徐々に感じられしかも長い間味が残って消えない
- (2) 酸味は、温度が低いほど感じる
- (3) 甘味は、体温に近い温度で最も強く感じる
- (4) 塩味の閾値は、温度に比例して上下する
- (5) 材料の香りは、料理の温度に関係する

9. 次の切り方の名称を答えなさい。



10. 次の(1)・(2)の野菜のあく抜きの方法について、最も適するものをアからオまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) わらび (2) れんこん

ア 塩水につける イ 塩ゆでする ウ 酢水につける
エ 灰汁や重曹でゆでる オ 小麦粉と酢を加えた汁でゆでる

11. 次の(1)・(2)の文で正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ビネグレットソースの酢と油の割合は1：4が標準である
- (2) ドーナツを揚げる場合には200℃が適当である

問 題	1		2		3		4	5		6		7		8	9	10		11	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(1)	(2)
2																			
級																			
(第47回)																			
得 点																			
学校名	高校				学年			組			番号		氏名			合計			

2 級 筆 記 問 題

1. 次の(1)・(2)の食品の説明として最も適するものをアからエまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ガラムマサラ (2) タピオカ

- ア キャッサバの根茎から作られるでんぶん イ 東南アジアにみられる魚醤
ウ インド料理に用いる混合香辛料 エ 南蛮貿易と関係のある食べ物

2. 次の(1)から(4)の文はわが国の食料事情について述べたものである。正しいものを二つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 現在の食料自給率（熱量ベース）は約40%にまで低下している
(2) 小麦、大豆、砂糖は生産量が少なく輸入している
(3) 砂糖、とうもろこし、肉類は輸入量の状態をみると、年々減少の傾向にある
(4) 鶏卵、牛乳、魚介類（えびを除く）、果物の生産量の増加は著しく、そのうち鶏卵、魚介類、果物は比較的多量に輸出している

3. 次の表の(1)・(2)に適する無機質（ミネラル）を解答欄に記入しなさい。

種 類	特 徴
(1)	血液中の炭酸ガス濃度を支配する酵素の成分。 インスリンの生成に関与する。不足すると味覚障害があらわれる。
(2)	肝臓中に存在し、酵素作用を助ける。骨の生成を助ける。

4. 次の(1)・(2)に最も適する牛乳の殺菌温度をアからオまでの中から選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 低温長時間殺菌法 (2) 超高温滅菌殺菌法

- ア 35℃～40℃で40分 イ 62℃～65℃で30分 ウ 72℃～75℃で15～30秒
エ 120℃～130℃で2～3秒 オ 135℃～150℃で1～4秒

5. 次の表は鶏卵可食部100gあたりの成分を示したものである。(1)・(2)の問いの答えを解答欄に記入しなさい。

- (1) 卵黄は、A、Bのいずれか。
(2) ①の栄養素は何か。

	A	B
エネルギー	387kcal	47kcal
たんぱく質	16.5g	10.5g
脂 質	33.5g	Tr
カルシウム	150mg	6mg
(①)	6.0mg	0
ビタミンA (レチノール当量)	480μg	0
ビタミンB ₂	0.52mg	0.39mg

6. 次の(1)・(2)について、それぞれのアからエまでの中から最も適するものを選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) マーガリンに強化されているおもな栄養素はどれか。
ア 必須脂肪酸 イ ビタミンA ウ ビタミンB₁ エ ビタミンC
(2) 豆腐を作る時に使用される凝固剤はどれか。
ア 硫酸銅 イ 亜硝酸カリウム ウ 硫酸カルシウム エ 乳酸菌

7. さやいんげんはゆでてから冷凍するが、その理由は何か。アからエまでの中から最も適するもの一つを選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ア 葉緑素を短時間で変色させる イ 解凍後の食品の扱いが便利である
ウ 野菜中の酵素を不活性化させる エ 雑菌の繁殖を防ぐ

8. 次の(1)・(2)に適する調理用語を解答欄に記入しなさい。

- (1) 魚を塩焼きするときに、焼き上がりを美しく見せるために振る塩のこと
(2) 煮くずれを防ぐため、野菜の切り口の角を薄くそぎ取ること

9. 次の(1)から(5)の文は煮物について述べたものである。正しいものを二つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 調味するときは、さきに塩、しょうゆを入れてから砂糖を入れる
(2) 豆類は、途中で一度に多量の砂糖を入れて煮ると、やわらかくならない
(3) くりの含め煮は砂糖としょうゆで調味して煮つめる
(4) 食品の繊維にそって切ったものは、煮くずれしにくい
(5) 火加減は最初は弱く、煮立ってから強くしたほうがよい

10. 天ぶらの衣に使用する小麦粉の種類は何か。

11. 次の(1)・(2)の調理はどんな調理性を基礎としているか。アからオまでの中から最も関係の深いものを選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 豚肉のしょうが焼き (2) 抜糸地瓜
ア たんぱく質の凝固 イ グルテンの粘弾性 ウ でんぶん濃度
エ 砂糖の加熱による変化 オ たんぱく質の溶出

問 題	1		2	3		4		5		6		7	8		9	10	11	
	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)				
2 級 解 答																		
得 点																		
学校名	高校			学年	組			番号			氏名			合計				

2 級 筆 記 問 題

1. 次の(1)・(2)の料理に最も関係のある国をアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

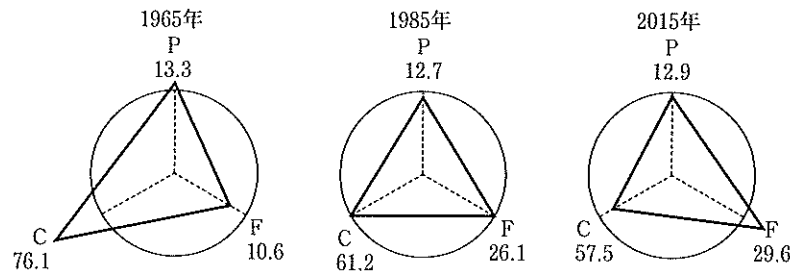
- (1) チヂミ (2) パエリア

ア タイ イ ロシア ウ 韓国 エ スペイン オ イタリア

2. 下の図を見て、次の文中の(1)・(2)に適する栄養素の名称を解答欄に記入しなさい。

近年、わが国のエネルギー摂取量は、(1)からの摂取量が減少し、(2)とたんぱく質からの摂取量が増加しており、欧米型に近づく傾向にある。

栄養バランスの推移 (%)



※円はそれぞれの適正比率を表わしている (農林水産省「平成28年度 食料需給表」より)

3. 摂取した鉄を十分に吸収、利用するためにはどのような物質が有効か、アからオまでの中から二つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

ア 脂質 イ たんぱく質 ウ ビタミンC エ ビタミンD オ カリウム

4. 次の(1)・(2)の文に最も関係のあるものを、アからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 原産地はインドといわれ、これで作ったのはさめは煮とけにくい
 (2) 秋には種を播き越冬させる。空に向かってさやがつく

ア そら豆 イ あずき ウ 緑豆 エ 落花生 オ 大豆

5. 次の(1)・(2)の調味料について、最も適するものをアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) チリパウダー (2) 五香粉

ア 山椒、クローブ、シナモン、陳皮、八角の5種類を混ぜたもの。独特の風味がある
 イ くせのある香りと辛みのある若葉。タイ料理に好んで使用される
 ウ とうがらしを主にオレガノ、クローブ、クミン、黒こしょうなどを配合したもの
 エ こしょう、シナモン、クローブなど辛味のものや香りのあるものを数種類混ぜたもの
 オ 白身魚の身や骨、香味野菜、白ワインを用いて作るだし

6. 次の(1)・(2)の製法によって作られる加工食品を答えなさい。

- (1) 卵殻の表面に石灰・木炭・食塩・もみがらなどを水でこねたものをぬり、冷暗所に3~4カ月放置してつくる
 (2) 豚ばら肉に食塩をすりこみ、くん煙してつくる

7. 味の相互作用について、次の(1)・(2)の文が正しければ○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

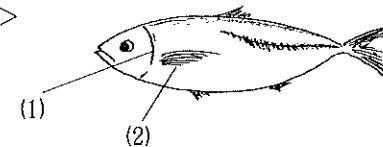
- (1) 抑制効果とは、すいかに塩をふりかけるなど、二つの呈味物質を混合すると、主たる味が強まる現象
 (2) 相乗効果とは、こんぶとかつお節でだしをとるなど、二つの呈味物質を混合すると、それぞれの単独の味よりも強く感じる現象

8. 次の(1)・(2)は食品の洗い方である。最も適する食品をアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) すり洗い (2) もみ洗い
 ア 米 イ 牡蠣 ウ しじみ エ かんぴょう

9. 次の(1)・(2)の魚の部位の名称をアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

<あじ>



ア 胸びれ イ 腹びれ
 ウ 背びれ エ 尻びれ
 オ えらぶた

10. 次の(1)・(2)の汁の特徴について、最も適するものをアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) けんちん汁 (2) うしお汁
 ア 数種類の野菜と脂身の多い豚肉を使ったもの
 イ 鮮度のよい魚介類を水から煮出し、塩を主体として調味したもの
 ウ 吸い物にとき卵を糸のように流し入れたもの
 エ 鶏肉または豚肉にだいこん、さといも、ごぼうなどを入れてみそ仕立てにしたもの
 オ 炒めた豆腐と野菜類で作ったもの

問題	1		2		3	4		5		6		7		8		9		10		
	(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	
2																				
級 (第49回)	解答																			
得点																				
学校名	高校				学年		組		番号		名前				合計					

2 級 筆 記 問 題

1. 次の(1)・(2)の文に最も適する時代をアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 食生活に西洋料理の影響が強まり、肉食も広まりはじめた。代表的なものに「牛鍋」がある
- (2) 狩猟・漁、植物採取の他に稲作がはじまり食生活が安定する一方で貧富の差も出てきた

ア 縄文・弥生 イ 奈良・平安 ウ 鎌倉・室町 エ 江戸 オ 明治

2. 次の(1)・(2)の正月に関することばのいわれを表すものをアからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ゆずり葉 (2) 田作り

ア 子宝を得て子孫繁栄を意味する
 イ 健康でまめに暮らすことを意味する
 ウ 子孫への相続
 エ 豊作祈願
 オ めでたいの意味

3. 次の文中の（ ）に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

不飽和脂肪酸の中でリノール酸、 α -リノレン酸は動物の成長に欠くことのできないもので（ ）とよばれる。

4. 次の文中の（ ）に最も適する語句を解答欄に記入しなさい。

2005年6月には「食育基本法」が制定され、さらに国民一人ひとりの1日の適切な食事摂取量をわかりやすくイラストで示した「（ ）」が策定された。

5. 次の(1)・(2)の製法によってできる乳製品名をアからカまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 牛乳を $\frac{1}{2}$ に濃縮し、砂糖を加えたもの
- (2) 牛乳または脱脂乳を殺菌し乳酸菌を加え発酵させたもので、整腸作用がある

ア クリーム イ 調製粉乳 ウ コンデンスミルク エ アイスクリーム オ ヨーグルト
 カ ナチュラルチーズ

6. 次の(1)・(2)の文に最も適する大豆の加工食品名を解答欄に記入しなさい。

- (1) 煮大豆に種麴と塩を加え発酵・熟成させたもの
- (2) 浸水大豆を粉碎、加熱し、布でこして豆乳を取った後に残ったもの

7. 次の(1)・(2)の色素について最も関係のあるものをアからオの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) クロロフィル (2) アントシアニン

ア かぼちゃ イ ほうれんそう ウ 小麦粉 エ 紫キャベツ オ れんこん

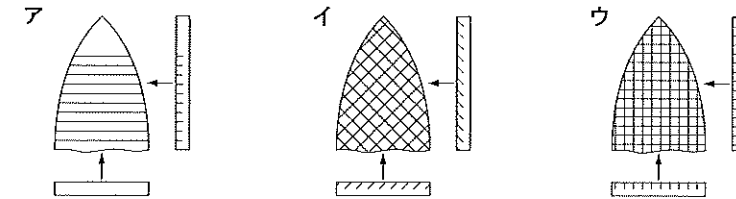
8. 次の(1)・(2)の文に最も適する加工法をアからエまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 微生物の繁殖に不適当な pH にする
- (2) 微生物の繁殖に必要な水分をのぞき、防腐効果のある物質を食品に付着させる

ア くん煙法 イ 凍結乾燥法 ウ 酢漬法 エ かん詰法

9. いかを調理する場合、次の(1)・(2)の問いについて、アからウまでの中から最も適するものを選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 松笠いかの切り方はどれがよいか。



- (2) いかに切りこみを入れて加熱するには、どの方法がよいか。

ア 水からゆでる イ さっと熱湯にとおす ウ 熱湯で10分ぐらいゆでる

10. 次の(1)・(2)のそれぞれに最も関係の深いものを、アからオまでの中から一つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 西京焼き (2) 吉野煮

ア 大豆 イ ゆず ウ 白みそ エ 卵黄 オ でんぷん

11. 次の(1)・(2)の文が正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) にんじんを水につけておいたので、ビタミンAがこわれた
- (2) 天日乾燥した後のしいたけは、ビタミンDの給源となる

2	問 題	1		2		3	4	5		6		7		8		9		10		11	
		(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
級 (第50回)	解 答																				
得 点																					
学校名		高校				学年		組		番号		名前				合計					